

### 単元名（教材名）

武士による政治の始まり「元との戦い」（東京書籍『新しい社会6 歴史編』）

### 本時の目標

元寇に対し、鎌倉幕府と御家人がどのように戦ったのかについて、世界地図や日本地図、蒙古襲来絵詞を読み取り、まとめることを通して、説明することができる。〔(2)イ(ア)〕

### 読解力向上プランVer. 2における指導のポイント

⑦見たことを正確に文章にしたり、絵に描いたりする活動をさせる。

⑩「～を…という」というような定義文を全員で確認するようにし、用語の定義「とは」を使って説明させる。

	学習活動	指導上の工夫
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「13世紀のアジア」を示した世界地図を見て、元の位置と領土の大きさについて、日本と比較しながら確認する。また、元が攻めてきた地域を地図で確認する。</li> <li>・「元軍との戦いの前後のおもなできごと」を示した年表を見て、「二度にわたり攻めてきた元軍を、鎌倉幕府と御家人はどのように戦って退けたのだろう」という学習課題を確認する。</li> </ul>	
展開	<p>☆蒙古襲来絵詞の、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①元軍と竹崎季長が対峙している場面の絵</li> <li>②武士たちが防塁で守りを固めている絵</li> <li>③海上での戦いの絵を見て、それぞれの戦い方について読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①～③の絵を、まず個人で見て、読み取ったことを書き出させる。</li> <li>・個人で読み取ったことを班で交流させる。その際、該当箇所を示しながら説明させる。</li> <li>・①～③の絵が、蒙古襲来絵詞にどのような順番で掲載されているか予想し、班で意見を交流する。その際、どのように考えた理由も発表させる。</li> </ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習課題に対する答えを個人でまとめ、御家人たちは、元軍の集団戦法や火薬に苦しみながら、防塁を築いて守りを固めたり、元軍の船に乗り込んで戦ったりして元軍を退けることができたことを確認する。</li> <li>○なぜ、御家人たちはこのように必死に戦ったのかを考える。</li> </ul>	

### ☆板書例☆

二度にわたり攻めてきた元軍を、鎌倉幕府と御家人はどのように戦って退けたのだろう。



陸

日本の方が…

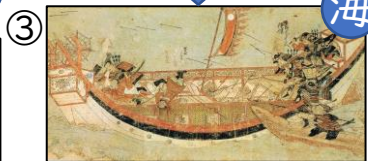
【元軍】  
 ・服が軽そう  
 ・火薬兵器を使っている  
 ・弓が短い  
 ・矢を腰につけている  
 ・集団

【日本】  
 ・よろいをつけている。  
 ・馬に乗っている。  
 ・弓が長い・矢を背につけている。  
 ・一騎打ち



陸

防塁を築いている。  
 →元軍の上陸を防ぐ



海

御家人が元軍の船に乗りこんで戦っている。

・①、③の絵は、元と日本を比較する視点で見るとみましょう。

・遊牧騎馬民族の元軍と、日本とがそれぞれ得意とするのはどのような戦い方なのかを考えてみましょう。

### ◇実践のポイント◇

教科書では、元が誕生した経緯や、周辺国を支配下におこうとした経緯を端的に説明している箇所がありますが、実は理解が難しい箇所です。「元とはどのような国か」を教科書から読み取り、説明させる活動を入れて、導入時に丁寧に確認してください。そうすることで、この戦いが日本にとって大きな危機であったと捉え、イメージを膨らませて展開部の学習活動に取り組むことができます。